

大人になった今でも忘れられない

生きる力をくれた「先生のことば」 小学生のとき

「自分の言葉で話さない」

小学校の記念式典で祝辞を述べる時、緊張して足がすくんだ私に校長先生がくれた言葉です。原稿を暗記して間違えないように話すのではなく、自分の言葉で話すことの大切さを学びました。

「あなたがうれしいと思う気持ちは、相手と同じ」

小学生の頃、仲間はずれにされてしまった友だちとやっとの思いで「おはよう」のあいさつができた時に、私たちを見守っていた先生からこの言葉をいただきました。何気ない言葉ですがとても嬉しかったです。

教室は間違っているところ

小学校時代、もじもじしていた私にかけてくれた言葉です。「教室は間違っているところ、勇気をもって発表してごらん」と。おかげで少しずつ自信がもてるようになりました。

友だちは、自分の心の鏡である

小学校時代、担任の先生にいただいた言葉です。この言葉のおかげで、今でも人とのかかわりの中で、常に意識して自分自身を振り返ろうと努めています。

今の辛さは将来の優しさへと変わる

小学生のとき、転校生で方言をからかわれ、辛い思いをしました。その時担任の先生が「今の辛さを覚えておいて。きっと将来、周りに優しい人になれるから」と言って下さいました。

他人と自分を比べなくなった時、人は本当に自分を好きになれる

小学6年生の頃、他人と比べてばかりで「私なんか」が口癖だった私に担任の先生が言った一言です。「私はわたし」自信と信念をもってこれからも歩んでいきます。

中学生のとき

何もしないで一日 何かしても一日

中学三年生の時、先生がいつも口にしていた言葉です。みんなが自然と胸を打たれ「最後の中学生生活をもっと有意義に過ごそう」と団結しました。

出る釘は打たれるというけれど

人間は叩かれて成長していくもの

引っ込み思案でいつも目立たないようにしていた私に、先生がくれた言葉です。後一步を踏み出せずに迷った時、いつもこの言葉を思い出します。

つまらないことで青春してるなよ

ちょっと悪ぶっていた私に、ある日ハンドボール部の先生が声をかけてくれました。その後入部し、高校ではインターハイ、国体、そして実業団でも日本一になりました。あの時の先生の一言で、人生が大きくかわりました。

幸せは、君の後ろをゆっくりゆっくりついてくる

中学の社会科の先生がくれた大切な言葉です。うまくいなくて焦った時、いつもこの言葉を思い出し、乗り越えてきました。

正直は一生の宝

中学時代、担任の先生が私を叱る時、必ずこう言いました。卒業の時にはこの言葉を刻んだお願いのストラップをクラスで作ри、今でも大切に付けています。

辛い、という漢字を、幸せ、という字に変えるのは

自分の努力と思いやる心

中学二年生の時、恩師がくれた言葉です。人生の壁にぶち当たるたびにこの言葉に支えられてきました。先生、ありがとう。

失敗のない人生はない、失敗から学んで、大きくなれ

何かにつけ失敗の多かった私に、中学時代の先生がかけてくれた言葉です。失敗を振り返り、自分のプラスにすることを教えてくれた大切な言葉です。

誰かは必ず見ている、もし、誰も見てくれていなくても、

神様が見ていてくれているから大丈夫。

中学時代、絵のコンクールのために並々ならぬ努力をしたのですが、結局入賞できず落ち込んでいた時先生がくれた言葉です。たった一人でも理解してくれる人がいるという励ましは、その後も私の支えになっています。

うそやごまかしで、信用を失うな

「先生はごまかせてもあなたの友達にはすぐばれる。そんな人は信用されない」と言われ反省しました。

このクラスに“みんな”なんて一人もいない！

あなたは、一人しかいない

「だってみんなが……」という言い訳をした時に「あなたに言っているんです」と先生が一喝。目が覚めました。

ほめられて反省、叱られて感謝。

中学の時、遅刻して叱られ、落ち込んでいたら先生が下さった言葉です。ほめられた時には有頂天にならず反省し、叱られた時こそ「ありがたい」と感謝する事が大切だと論されました。

大きな人間になれ

中学一年生になったとき、担任の先生がいつも目標に掲げていた言葉です。「大きな」という言葉に込められる深さは、今となっても考えさせられ、常に「大きくなろう」と心がけています。

高校生のとき

人の話を聞くときは

話している人が照れるくらい、相手の目を見て聞きなさい

高校生のとき、先生がよく言っていたこの言葉。これってなかなかできる人が少ないんですよ。社会人になってから特に感じています。

一人で生きてきたと思わないで！

高校時代の反抗期。担任の先生から言われた言葉です。人の親になった今、人は必ず誰かの助けや支えがあって生きていることによく気づくことができました。

運は、貯金できるんだ

高校時代、いろんなことがうまくいかず、「私って運が悪い……」ってなげていた時に先生が励ましてくれた言葉です。運はここぞ！っていう時に使えばいいんですよ。この言葉でとても救われました。

ページはめくらないと何も始まらない

高校時代の尊敬する先生の言葉です。何事も前に進まないと話は始まりもしなければ結果も得られない。いつもこの言葉を心に留めています。ありがとうございました。

二十歳(はたち)過ぎたら自分の顔

高校三年生のとき、先生から言われました。「二十歳過ぎたら、顔にその人

の生き方が出るもの。”自分の歴史”である」と。このことばのおかげで大人になるという事を自覚しました。

誕生日は両親感謝する日

高校生のとき、誕生日に友達とお祝いをして大騒ぎしていたら先生に言われた一言です。母となった今、このことばの意味がわかるようになりました。

決め付けることは、諦めることと同じ

成績があまりよくない時期、その理由を先生に聞かれ「この程度でいいんです」と答えてしまいました。その時にこのことばで叱られ、努力してみようと思いました。

無知は無力だ

高校生のとき、授業をまじめに聞かない私に先生が言ったことばです。自分の力で学び、考え方を身につけることの大切さを教わかりました。その思いが今、大人になってわかるようになりました。

人生に必要なのは、愛、運、縁、恩

高校二年生の終業式で担任の先生から頂いたことばです。人生に必要な「あいいうえお」は、愛情の「愛」、運勢の「運」、ご縁の「縁」、恩義の「恩」といわれ、今でも心に残っています。

一番強いのは”続ける才能”

美術系の高校に通っているとき、まだ自信も実力もなく確立していない私達に「やめなければ必ず上手くなっていく」と励ましてくれました。これからも「続ける才能」を持ち続けていきたいと思います。

だったら、お前が学校を変えたらいい！

高校時代、担任の先生に学校の不満を口にしたときに言われた言葉です。この言葉がきっかけで、生徒会役員になったり、クラスメイトと積極的に関わる事ができました。

ライバルは昨日の自分

学生時代のテストで人の点数ばかり気にしていた私に「人と自分を比べるのではなく、昨日の自分と比べてどれだけ伸びしろがあったかが大事だ」と言われ反省しました。

会話は文句じゃありません

仲間と口論になったとき、仲裁に入ってくださった先生の言葉です。怒鳴るわけでもなく注意してくださって、今でも心に残っています。

アホなこと2回目したやつがほんまアホや

授業中、ふざけていた友達を見た別の友達が同じようなことを真似して先生に叱られた時の言葉です。ずっと心に残っています。

あなた達は歴史の最先端にいる！

高校三年生のとき、世界史の最後の授業で先生がおっしゃった言葉です。この言葉のおかげで、自分の行動が歴史になるのか……と考えました。

部活動のとき

死ぬ気でやってみろ！死なないから大丈夫だ

バレー部の先生が大事な試合の前に喝を入れてくれました。思わずみんなで笑ったおかげでリラックスでき、試合も勝ち進むことができました。

お前は努力の天才だ

高校の自転車競技部。誰よりも多い練習量をこなす私を見て、インターハイ予選の代表に選んでくれたときの先生のことばです。努力は必ず道を開いてくれることを教えてくれました。

サボっていいことなんてないんだよ！

中学時代、部活動の顧問に言われた言葉です。ある日、ランニングをサボっていたら先生に見つかり、こっぴどく叱られました。でも、この言葉のおかげで逃げていては何も身にならない事を学びました。

世の中を支えているのは、お前みたいなやつだ！

高校野球部でずっと補欠のまま引退を迎えた日、顧問の先生が言ってくれた言葉です。今もその時の言葉を思い出して家族のために頑張っています。

仲間を信じて一つの空気になろう

高校時代、吹奏楽部のコンクールでキャプテンという責任感に潰されそうだった私にくれた言葉です。おかげで最高の演奏ができました。社会に出た今でも忘れられない言葉です。

頭で考えるな、カラダで覚えろ！

高校生の剣道部。大会前のスランプから抜け出せなくなっていた時、先生から言われた言葉です。練習量は自信に繋がるもので、おかげでスランプから脱することができました。

努力の過程は人をつくり、結果は思い出をつくる

試合に負けて部活を引退した後のことです。友人の活躍を聞いて「すごいですね」と顧問の先生に言ったらこの言葉で励ましてくれました。努力はしたけど結果が出せなかった自分にとって感動の一言でした。

逃げるな！楽しめ！そして忘れろ！

大学の部活動で全国大会に挑戦するかどうか迷っていたとき、先生に言われた一言です。「逃げ始めると人は弱い、もし失敗してもくよくよ悩む必要はない」と励まされました。

失敗は恥ずかしいことではない。

恥ずべきはそこから立ち上がらないことだ。

中学一年生でサッカー一部で始めて試合に出たとき、自分のせいで点を取られひどく落ち込みました。そんな時、この言葉で先生が励ましてくれました。

元気は出るものではなく、出すものだ

テニスの試合でのこと。相手に追い込まれ応援の声が小さくなりかけていていやなムードが広がったとき、先生のこの一言で劣勢を跳ね返すことができました。いまでもこの言葉を思い出して、元気を出しています。

弱気は最大の敵！

大学時代に野球の試合でチャンスを活かせずに落ち込んでいたとき、この言葉をいただきました。相手に勝つよりも、まず自分自身に勝たなければならないと教えられました。

笑顔のないところに幸せはない

部活動の大会で負けてしまい落ち込んでいたときに顧問の先生にかけていただいた言葉です。今でもこの言葉を忘れずに笑顔を絶やさないようにしています。

きついと思ったところからが成長だ

部活の練習中に逃げ出したい気持ちになった時の事です。今が一番きつくないなら成長していない証拠。きついと思ったところからが成長なんだ。

と励まされました。

自分を信じないで他のヤツを信じられるわけがない

バスケット部の引退試合前のミーティングで先生に言われた言葉です。まずは自分、次に仲間を、最後運を信じろと声をかけてくださいました。

話は目で聞け

中学の部活動中、先生の話を下を向いて聞いていたら「話は目で聞け」と叱られました。それ以来ちゃんと顔を見て話を聞くようになりました。この言葉のおかげで礼儀が一つ身に着いて感謝しています。

明日から頑張ろうじゃだめ！

今から頑張ろう、じゃないと一流にはなれない

陸上の大会でよい結果が出せずに「明日から頑張ります」と先生に決意表明したら「明日からじゃない、今からじゃないと一流にはなれない」といわれました。

賞を獲るのが音楽じゃない、人を楽しませるのが音楽だ

中学最後の吹奏楽コンクールで金賞を獲れずに泣いていたとき、顧問の先生がくれた言葉です。この言葉を胸に今でも吹奏楽を続けています。

練習はウソをつかない

だらけた練習をしていた私達に、中学時代の野球部のコーチが言った言葉です。「練習でできないことは試合でもできない。」

進路のとき

春は自らの心の中にある

卒業生の中でただ一人私だけが進学せずに就職。その時に先生から特別にいただいた言葉です。私はこの言葉を胸に29年間同じ仕事を続けられました。

あなたは、あなたの人生の脚本家です

将来の夢が決まらず進路に悩んでいた私に先生がくれた言葉です。ドラマのストーリーを自分で決めることができるなんて最高の舞台ですよ……といわれ、好きな道に進むことができました。

30年先のじぶんから、今の自分をみてみなさい

就職試験で苦しんでいたことを理由に卒論をまじめに取組んでいなかったとき、先生がカツを入れてくれました。いまではとても感謝しています。

愛で導き、涙で叱れ

「教師になりたい」と決意し担任の先生に話したとき、「私と同じ道を進むなら」……とこのことばをいただきました。ありがとう先生！

夢は大空に、足元は大地に

「夢を大きく描くのはいいことだけど、地に足をつけて夢をかなえるための努力を決して忘れるな」と担任の先生にいわれました。このことばを思い出すたび、身が引き締まります。

結果に原因あり、原因に我あり

仕事に就いたものの迷っているとき、このことばで励ましてくれました。そのおかげで自分を振り返ることができました。

自分の選択を正しいものに変えていけるのは自分だけ

大学進学で悩んでいたとき「こっちならこうなっちゃう、あっちならあんなっちゃう」と不安ばかり口にしていて私にかけてくれたことばです。何かを選択した後の努力こそが大事なんだと教えられました。

深刻にならずに、真剣に！

学生時代、就職指導で先生からいただいたことばです。それ以来いつもこのことばを心にとめて、ここぞというときには声を出して頑張っています。

受験のとき

お前は持っている才能だけで苦労せずにやっているけど それで満足か？

高校受験を控えた頃、すでに志望校に合格できそうな状況ではあったんですが、先生のこの一言で努力することを覚えました。

夢を叶えるための失敗なら大いにしなさい

高校受験に失敗し教室で泣きじゃくる私に担任の先生が下さった言葉です。ほかにも節目節目で心に残ることばをたくさん貰いました。

努力は素質を上回り、気力は実力を越える

大学受験を控えていて自分に自信がなくなりそうになったとき、先生からいただいたこのことばで頑張ることができました。

風邪を引くのは気がゆるんでいる証拠

大学受験を控え、不安を抱えていた時に先生からきっぱりといわれました。

非情なようですが、愛情あっての厳しい言葉だったと今でも懐かしく思い出します。

弱音を吐いて皆を巻き込むな！

苦しい時こそ、気配りを忘れるな

高校受験のとき、グループ班長の私が班のノートに「もう駄目」と泣き言を書いたら、担任の先生からこの厳しい一言。「弱音を吐くな」はいまも私のポリシーです。

卒業のとき

美しい女性になってください

女子高を卒業する時に頂いた言葉です。家事と育児に終われる日々ですが、子ども達と花を見たり自然を感じながら心も美しくいられるよう心がけています。

笑顔に勝る化粧なし

中学卒業の日に担任の先生が女子生徒にくれた言葉です。人間関係を築く上で笑顔はとても大切だとつくづく感じています。最近では、中高生が化粧するのをみて、この言葉をかけてあげたいなア-と思っています。

おまえの人生、必ず目的地に着くから大丈夫

高校卒業式、人生を列車のレールにたとえて担任の先生がくれた言葉です。社会人になった今、会社の後輩にこの言葉をおくりました。

人の夢になってください

高校3年生の1年間、迷惑ばかりかけていた私に先生が卒業式の後くれた言葉です。くじけそうなとき、いつも思い出します。今の私の夢はもちろん「人の夢」になることです。

苦しいときに励ましてくれるのは、過去の自分

卒業式の後、先生がクラスみんなに話してくれた言葉です。本当に苦しいとき、自分が努力してきたことを思い返して乗り越える力に変えたいと思います。

みんなちがって、みんないい

高校卒業のとき、担任の先生から頂いた手紙に、「詩人 金子みすずさんの言葉を贈ります」と、この言葉を頂きました。今でもこの言葉が胸に刻まれています。

生きているということは、誰かに借りをつくっているということ

卒業式で校長先生が、ご自分の好きな言葉として贈ってくれた言葉です。

思わず涙がこぼれました。

あなたの笑顔は財産です

卒業式の日、先生がクラスの一人ひとりにその子の一番の魅力を素敵な言葉で贈ってくれました。私には「おまえの笑顔は学年で一番」とおっしゃってくれてとてもうれしかったです。

馬鹿であるな、馬鹿になれ

中学の卒業式に、先生が卒業アルバムに書いてくれた言葉です。いつも迷惑をかけていましたが、とことん付き合ってくれる素晴らしい先生でした。

大切なのは「何年生きたかよりも、何をして生きたか」

高校の卒業式で部活の先生から頂いた言葉です。「何かを成し遂げる努力をして年をとりなさい」と伝えてくれました。

若竹のように伸びよ

小学校の卒業式で担任の先生から頂いた言葉です。「強さ」だけでなく、「しなやかさ」が大切であると教わりました。卒業文集の題名も「わか竹」だったこともあり、今でも忘れられません。

笑顔が心を強くする

中学時代の恩師が卒業のときに贈って下さった言葉です。40歳になりやっとかみ締めて心に響いています。今は口角をあげて毎日笑顔で過ごしています。

人の心は果てしない宇宙よりもっと広い

小学校卒業のとき先生がくれた言葉です。「宇宙より広い心を何で埋めていくかは自分次第だ」とサイン帳に書いてくださり、今でも時々思い出しては胸が熱くなります。

つまづいても自分で立ち上がろう

そのときさしのべられた手の温かさが分かるから

小学校の卒業式の日担任の先生が色紙に書いて下さった言葉です。今でも先生が私の一番の憧れの女性です。

足元のごみにそっと手を伸ばせる人になってください

部活の先生が卒業式のときに下さった言葉です。とても厳しい先生で、私達は反抗するばかりでしたが、本当は相手を思いやる心も教えてくださっていたのだと今になって気付きました。

自分を大切にできない人は他人も大切にできない

小学校の卒業式のあと、担任の先生がくれた言葉です。「まずは自分を大切にしろ」という言葉にみんな号泣してなかなか教室を出られなかったのを覚えています。

良いことがあったときこそ

周りの人のおかげと感謝できる人になりなさい

中学校の卒業式で担任の先生から言われた言葉です。「感謝できる人間であれ」と大人になった今でもいつも心がけています。

自信とうぬぼれは紙一重、謙虚とひがみも紙一重

大学卒業のとき、先生から頂いた言葉です。社会歴20年になりますが、謙虚な気持ちを持ちつつも自信を持って仕事しています。

大変な時こそ大きく変えるチャンスの時

「大変という字は大きく変えると書くんだ。」中学の卒業式で恩師から教えられました。これからも前向きに、困難に立ち向かっていきたいと思います。

くちびるに歌を

小学校の卒業式で音楽の先生から頂いた言葉です。苦しい時、辛いときはいつもこの言葉に助けられました。これからも大事にしたい言葉です。

一歩踏み出すにはまず今の足場を固めよ

中学校を卒業するときに担任の先生から頂いた言葉です。「地に足をつけた生き方をしろ」と教えられました。

夜空を見上げなさい

中学三年生の頃、担任の先生が卒業アルバムに書いてくれたことばです。見た瞬間「キザだな～」と思っていましたが、悩んでいる時、落ち込んだ時に見上げる夜空は優しく私を包んでくれます。

辛い事があったら感謝しなさい。”これでまた一つ強くなれます”

中学の先生が卒業式にくれた言葉です。あの時は「どうして辛いのに感謝しなければいけないの」と思っていたこのことばが、社会人になり、妻になり、母になった今、やっと理解できるようになりました。

きつい！と思ったところからが成長だ！

部活の練習中に逃げ出したい気持ちになったときのことです。今がきつくないなら、成長していない証拠！きついって思ったところからが成長なんだ！と励まされました。

流れる川は、いつまでも美しい

ある失敗で、次の行動に移るのが怖くなってしまった私にかけてくれた言葉です。この言葉のおかげで、躊躇した時にも一歩踏み出す勇気をもらえました。



pixta.jp - 4927829



©fumira

進むべき道に迷ったら、困難に思える道を選びなさい

高校卒業のときの先生のことばです。「困難に思えるという事は、きっと自分が本等にやりたいことだ」とおっしゃっていました。何かに迷ったときはこの言葉に従って行動します。